

# 天下り職員の給与をチェックせよ

## 質問

市町村が受け取るべき「宝くじ収益金」が、(財)市町村振興協会にプールされ、適切に使われていないことを、平成18年3月議会で指摘した。また、平成21年3月議会では、県市長会での飲食費、海外視察問題なども指摘してきた。

更に、国の事業仕分けでは、こうした公益法人への天下りの実態が明らかになり、給与確保のために補助金の名目で、お金を融通し合っているとも言われている。

市はこうした団体に、慣例として負担金を払い続けている

る。市長に、市町村振興協会と県市長会を例に聞くが、この団体から更に他団体に補助金が支出されていないか。

## 市長

他団体への補助金支出は確認していない。

## 質問

これら団体に、天下り職員はいるか。給与額はいくらか。

## 市長

確認していない。

## 質問

これら団体は、指名競争入札、一般競争、それとも随意契約で運営されているか。

## 市長

運営の内容について把握していない。

## 質問

私たちの税金を、チェック無しで払ってはいけない。改める考えはないのか。

## 副市長

団体の内部でチェックがされ、適正な支出がされていると考えている。

## 質問

そうした鵜呑みがいけないことが、事業仕分けで明らかになった。妥当な支出か否かの判断は、議員の仕事。市が負担金を支出している団体の隠れ補助金の実態、天下り、給与などの資料提供を求めるが。

## 副市長

資料請求をし、後ほど報告する。

# 子どもたちを虐待から守るために

## 質問

DVと、児童虐待の実態は。

## 福祉部長

DVは、平成19年度が9件、20年度が4件、21年度が8件。うち、保護対象になったのは、19年度が3件、20年度が2件、21年度が1件。

児童虐待は、平成19年度が62件、20年度が70件、21年度に54件となったが、乳幼児への虐待相談が多くなっている。種別では、21年度は、身体的虐待が18件、ネグレクトが26件、心理的虐待が10件。

## 質問

早期発見、早期通報が子どもを守ることを、広く市民に知ってもらうことが大切。周知と窓口の充実を。

## 福祉部長

内部で検討したい。

